

千代田

Vol.1671

令和8年(2026年)

9月/5日

富士山噴火 そのとき、あなたは

Contents — 今号の主な内容 —

6 区立図書館(室)の臨時休館 8・9 第64回千代田区民体育大会 16 日比谷図書文化館15周年記念イベント

富士山噴火の歴史

日本を代表する「富士山」。国内外の人々を魅了する山である一方、今も活動を続ける活火山です。これまでも噴火を繰り返し、人々の暮らしに影響を与えてきました。

781年(天応元年)
降灰により山麓の植生に被害

800～802年
(延暦19～21年)
延暦噴火

噴火が断続的に続いた。山麓へ大量に降灰、溶岩流が流出

864～866年
(貞観6～7年)
貞観噴火

大量の溶岩流の流出により民家が埋没。富士五湖の形や構成が大きく変化

937年(承平7年)
噴火

999年(長保元年)
噴火

1033年(長元6年)
噴火

1083年(永保3年)
噴火

1435年(永享7年)
噴火

1511年(永生8年)
噴火

1707年(宝永4年)

宝永噴火
2週間にわたって爆発的な噴火が続いた。江戸の町にも大量に降灰

資料…内閣府「報告書(1707富士山宝永噴火)」

そのとき、あなたは

1707年の宝永噴火以降、富士山の地下部ではマグマがたまり続けています。

噴火時には区内でも降灰による被害が想定されており、区は富士山噴火への防災施策をすすめています。

「もし、富士山が噴火したら」。被害を最小限に抑えるために、そのときをイメージしてみましょう。

図災害対策・危機管理課 ☎ 03-5211-4187

駅では



家では



外では



スーパーでは



道路では



気象庁の
発表の目安

噴火
予報

噴火警戒
レベル1



地下深くで
マグマがたまる

噴火
警報

噴火警戒
レベル4



マグマが
浅いところに
移動する

噴火
警報

噴火警戒
レベル5



体を感じる
地震が増える

噴火
速報



噴火発生



火山灰が降る

日常

備えて

日頃から準備を

必要なもの



火山灰から目を守
ることが重要



産業用として認証
されたマスク (DS2
やN95など)
※通常のマスクの
二重使いでも可



水や食料



携帯トイレ

水は1人1日3ℓが
目安。最低3日～1
週間分、可能であ
ればそれ以上用意を

1人1日5回分が目安

あると便利なもの

- 除灰用スコップ
※先の平なものな
ら、雪かきスコッ
プでも代用可
- レインコート
※大きいゴミ袋に穴
を空けて代用可
- 手袋

基本的な防災用品

定期的にチェックして備えておき
ましょう。



噴火直前

正しい情報収集と準備を

噴火は、噴火前に前兆現象が観測されることがあります。

区では、防災ポータルサイトや防災アプリ、安全・安心メール、区公式SNSなどで、随時情報を発信しています。都や区、気象庁などの発信する情報に注意してください。

窓や換気設備を閉じてエアコンの室外機にカバーをかけるなどの養生を行い、火山灰の侵入を防ぎましょう。電気機器に火山灰が入り込むと故障の原因となります。また、できるだけ在宅勤務できる体制の確認をしておきましょう。



噴火

対応して

情報収集と在宅避難を

噴火前に続き、都や区、気象庁などが発信する情報で「噴火警戒レベル」の変化に注意し、情報収集を行いましょう。

1707年の宝永噴火と同等とすると…

千代田区の想定

- 約3時間後に火山灰が到達
- 2週間程度、断続的に降り続く
最終的に約10cm積もる可能性あり



在宅避難を

区の場合、建物に大きな被害が生じる災害ではありませんが、健康への影響や交通機関の混乱が生じるおそれがあるため、在宅避難を行ってください。やむをえない理由で外出する際は、マスクやゴーグルを着用しましょう。



自動車や自転車の運転を控えて

少量の降灰でも視界が悪くなり、道が滑りやすく危険です。火山灰は故障の原因にもなります。動けなくなった放置車両は緊急車両の通行の妨げになります。

火山灰の除去を

敷地内に積もった火山灰は各家庭で収集し、区からお知らせがあるまでは、保管をお願いします。

ポリ袋で保管する場合は破れやすいので、二重にして使用するなどして、火山灰が飛散しないようにしてください。



火山灰の取り扱いの注意

• 水浸しはNG

湿らせると飛散を防止できますが、水浸しにすると塊になって清掃しづらくなります。

• 道路に捨てない

風で飛散してしまうので、道路上に捨てないでください。区からのお知らせがあるまでは、各家庭などで保管してください。

• 流さない

排水管を詰まらせるおそれがあるので、排水溝や雨水ますに流してはいけません。

富士山が噴火した そのとき、千代田区は？

富士山はどんな噴火を
起こすのか

富士山は噴火のパターンが多い
ことが大きな特徴です。富士山のマ
グマはさらさらしており、溶岩流を
伴う穏やかな噴火が多いタイプで
すが、1707（宝永4）年の宝永
噴火では大量の火山灰を噴き上げ
て、江戸のまちに灰を降らせました。
溶岩流が流れ出る噴火と、大規模
で爆発的な噴火の両方を起こす可
能性があるのが富士山です。



提供：静岡県立中央図書館歴史文化情報センター

富士山では、地震や地殻変動など
の観測や活動の監視が24時間体制
で行われています。近年のデータで
は、現在の活動は落ち着いており、
直ちに噴火の可能性が高まっている
状況ではありません。
一方で、観測体制が整って以降、
噴火の記録がなく、前兆がどのよう
に現れるのかよく分かっていない
部分もあります。実際に、他の火山
では火山性地震が発生してから数
時間後に噴火した事例もあり、状況
が急変する可能性は否定できませ
ん。そのため、継続的な観測や監視
とともに、噴火に備えておくことが
大切です。

富士山の「今」を知る

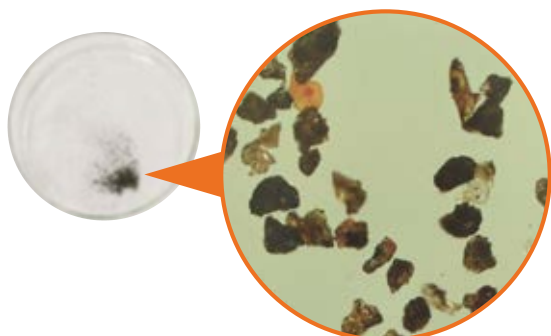


富士山科学研究所は国の研究機関と連携し、火山活動の観測研究をしている

首都圏への 最大の脅威とは

富士山が噴火したとき、千代田区
を含む首都圏にとって最大の脅威
は火山灰です。溶岩流が流れ着くこ
とはありませんが、偏西風によって
火山灰が運ばれ、数cmほど降り積も
る可能性があります。

火山灰は木を燃やした「灰」では
なく、細かいガラス片のような粒子
です。目に入ったり、こすったりす
ると、目を傷つけてしまいます。と
にかく、「目を守る」ことが重要で
す。また、降灰によって交通やライ
フラインに大きな影響が出るので、
噴火したときは外出を控え、家で過
ごしましょう。



火山灰は細かく、
鋭利であることが分かる



山梨県富士山科学研究所

吉本充宏さん

火山地質学を専門とし、長年富士山を研
究。現在は、地域の防災計画づくりや防
災教育にも携わっている。

特別な備えより 「いつもの防災」を

だからといって特別な備えが必
要というわけではありません。食料
や飲料水などの備蓄や停電の備え
など、地震や風水害への対策と同じ
です。

また、身の回りのもので代用でき
る備えもあります。例えば、火山灰
から目を守るためのゴーグルは、ス
ノーボード用のゴーグルや花粉症
対策用のゴーグルで対策できます。

また、噴火時は通常のマスクを二重
に着けることで火山灰を吸い込む
のを十分防げます。

富士山の噴火を必要以上に恐れ
る必要はありません。ただし、噴火
すると何が起こるのかを知ってお
くことが、とても大切です。噴火は
いつ起こるか分かりませんが、正し
い知識を身に付け、日頃から災害に
備えることが、暮らしを守る第一歩
になります。



富士山に関する教育資料の制作にも携わる吉本さん

千代田区では富士山の噴火・降灰への対策を すすめています

地域防災計画火山対策編の修正を
行っています。また、全国的にも先進的
な取り組みとして、富士山の火山活動
の状況に応じて「いつ、何をすればいい
のか」を示したタイムラインの作成を
すすめています。

地域防災計画火山対策編の修正

（パブリックコメントを令和9年1月ごろに実施予定）

- ・区民、事業者、来街者に向けたタイムラインの作成
- ・「富士山噴火に伴う降灰調査」の実施

地域防災計画概要版の作成

- ・火山対策編も含めた、千代田区地域防災計画の概要版を作成

都HPでは噴火時の
被害想定や備えを
生成AIを活用した
動画で分かりやす
く説明しています。



防災は地震、台風などさまざまな自然災害への備えが大切です

この季節に多い水害の対策も日頃から正しい情報の入手方法を確認し、警戒レベルに応じた避難行動につなげましょう。

▶ 防災気象情報で避難情報を確認しましょう （令和8年5月29日より気象警報などが大きく変わりました）

避難情報は、河川氾濫や土砂災害のおそれがあるか、または発生した場合に区が防災ポータルサイトや防災アプリなどで発令する情報です。気象庁の防災気象情報を目安として、区が発令します。防災行政無線が聞こえづらい方は防災ポータルサイトや防災アプリで情報を確認してください。

気象庁の発表

気象状況	気象庁等の情報 河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮
災害の 切迫・発生	レベル5特別警報 (警報レベル5相当)
発災2時間～ 0時間程度前	レベル4危険警報 (警報レベル4相当)
発災数時間～ 3時間程度前	レベル3警報 (警報レベル3相当)
発災半日～ 数時間前	レベル2注意報 (警報レベル2相当)
発災数日～ 約1日前	早期注意情報 (警報レベル1相当)

千代田区の発令(防災ポータルサイト・防災アプリで配信)

避難情報	区民等が取るべき行動	警戒レベル
緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保	5
警戒レベル4までに必ず避難		
避難指示	危険な場所から全員避難	4
高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	3
	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップで自宅の災害リスクを把握 ●避難方法(垂直避難、水平避難)を確認	2
	災害への心構えを高める ●気象情報など最新情報に注意 ●食料などの備蓄品の確認	1

神田川、日本橋川は「垂直避難」

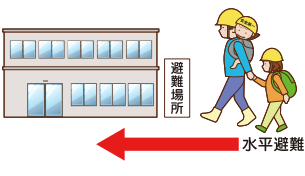
神田川や日本橋川は、水位の上昇が早く、浸水後も比較的短時間で水が引くことが想定されています。そのため、浸水の恐れがある場合は、頑強な建物の2階以上など高い場所へ避難します。



垂直避難

荒川は「水平避難」

荒川が氾濫した場合は、広範囲で長時間浸水が続くことが想定されています。一方で、浸水した水が千代田区に到達するまで、一定の時間的余裕があります。そのため、浸水が想定される区域の外へ避難します。



水平避難

台風6号発生時に区ではこのような対応を行いました



台風接近中(6月2日)

- ・区長のもと「危機管理対策会議」を開催し、区の対応方針を決定
- ・区立学校・園の休校などの周知
- ・区の事業・イベントの中止情報の周知
- ・台風の接近に備えた点検(道路の雨水ます・排水溝などの状況確認)、清掃



台風最接近(6月3日)

- ・大雨警報や神田川に係る氾濫危険警報の発表を踏まえ、該当区域に警戒レベル3高齢者等避難を発令
- ・防災行政無線、防災アプリなどで周知および注意喚起
- ・街路樹の倒木、道路冠水の対処
- ・職員の当番班を待機

自宅や職場の周辺でどのような浸水が想定されているのか、あらかじめハザードマップで確認し、いざというときの避難行動の把握を

参加無料

雨天決行

今年も防災フェスタを開催します

ステージやブースなど、体験型プログラムが盛りだくさんです。防災を「自分ごと」として考えてみませんか。家族や友人とぜひご参加ください。詳しくはHPで順次公開します。また、広報千代田11月20日号でも紹介します！

と き 12月13日(日) 10時～15時

場 所 日比谷公園、日比谷図書文化館(日比谷公園1-4)

主 催 千代田区

共 催 公益財団法人東京都公園協会(都立日比谷公園指定管理者)



＼ 去年は6,000人が来場し、大盛況でした ／

